

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-504584 (P2005-504584A)
 【公表日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-007
 【出願番号】特願 2003-531927 (P2003-531927)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 2/44 (2006.01)

A 6 1 F 2/48 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/44

A 6 1 F 2/48

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 31 日 (2005.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第一の拡大形状、第一の湾曲形状、第二の半径方向の圧縮形状および第二の供給形状を有する脊椎インプラントにおいて、第一の拡大形状よりも小さい半径方向の圧縮形状における横断面寸法と、第一の湾曲形状よりも真直な第二の供給形状における形状とを有し、円板腔内への供給時に第二の半径方向の圧縮形状および第二の供給形状をとり、円板腔内の配置時に第一の湾曲形状および第一の拡大形状をとり、ひとたび移植されたならば、椎骨体によりインプラントに加えられる荷重に应答して、半径方向の圧縮形状に向かって更に移動するように構成されていることを特徴とする脊椎インプラント。

【請求項 2】

前記第一の拡大形状および前記第一の湾曲形状における記憶位置をもつ形状記憶材料で作られていることを特徴とする、請求項 1 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 3】

横断面が実質的に C 型であることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 4】

横断面が実質的に円形であることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 5】

少なくとも第一の実質的に平らな表面および第二の実質的に平らな表面を備えた実質的に矩形の横断面を有することを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 6】

インプラント内に収容されたインサート材を更に有することを特徴とする、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の脊椎インプラント。

【請求項 7】

前記インサート材は舌ノ溝構造によりインプラント内に収容されていることを特徴とする、請求項 6 に記載の脊椎インプラント。

【請求項 8】

骨の内成長を高めるために、インプラントの外表面が粗面化されていることを特徴とする、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の脊椎インプラント。

【請求項 9】

可撓性を高めるために、外表面に複数の開口が設けられていることを特徴とする、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の脊椎インプラント。

【請求項 10】

可撓性を高めるために、外表面に複数の溝が設けられていることを特徴とする、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の脊椎インプラント。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】脊椎インプラント